

2007年9月10日

南アフリカ・Sasol社とのアクリル酸及びアクリル酸エステルの
合弁事業の解消について

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光）と Sasol Chemical Industries Limited（本社：南アフリカ共和国・ヨハネスブルグ、以下「Sasol」）とは、アクリル酸（以下「AA」）及びアクリル酸エステル（以下「AE」）の合弁事業を解消することに合意いたしました。

三菱化学と Sasol は、AA 及び AE 事業において、2003年9月に製品の販売、投資等をグローバルに展開する事業管理合弁会社（社名：Sasol Dia Acrylates (Pty) Limited）と、製品の製造を行う製造合弁会社（社名：Sasol Dia Acrylates (South Africa) (Pty) Limited）の2社を南アフリカに設立し、2004年3月より営業運転を開始いたしました。（別紙参照）

しかしながら、今般、合弁事業の経営について当社と Sasol の間で将来の方向性を協議した結果、それぞれが独自に事業を継続するほうが両社にとってメリットがあるとの結論に達し、友好的に合弁事業を解消することといたしました。今後、合弁事業解消契約に調印の後、南アフリカその他関係国の独禁当局、南アフリカ中央銀行による合弁解消についての最終承認をもって、三菱化学が事業管理合弁会社（Sasol Dia Acrylates (Pty) Limited）における持分50%を譲渡し、同社は Sasol の100%子会社となります。

当社は、四日市事業所における AA 及び AE の一貫生産体制とともに、合弁解消後も Sasol からの製品の引取権をもち、さらには、当社の AA 及び AE 生産技術の供与先である中国藍星（集団）総会社のグループ会社である瀋陽パラフィン社（2007年第1四半期より営業運転開始）からの製品引取権を加えることにより、引き続き、日本市場、国際市場における事業展開を図ってまいります。また、今後とも当社は、AA 及び AE の川上製品から高吸水性樹脂（SAP）やエマルジョン等の川下製品までの「トータル・アクリレート・チェーン」での事業展開を進めてまいります。

なお、本件合弁の解消に伴う、当社連結親会社である株式会社三菱ケミカルホールディングスの今期連結業績に対する影響は軽微であります。

以上

（別紙：合弁会社の概要）

[本件に関するお問い合わせ先]
三菱化学株式会社広報・IR室
電話：03-6414-3730

【Sasol Dia Acrylates (Pty) Limited の概要】

1. 設立 2003年9月30日
2. 本社 南アフリカ共和国
3. 社長 木村 武司 (きむら たけし) 三菱化学社から派遣
4. 出資比率 当社：50% Sasol社：50%
5. 事業内容 アクリル酸及びアクリル酸エステルの販売、投資等の事業管理

【Sasol Dia Acrylates (South Africa) (Pty) Limited の概要】

1. 設立 2003年9月30日
2. 本社 南アフリカ共和国
3. 社長 Stephan Schoeman
4. 出資比率 Sasol Dia Acrylates (Pty) Limited社：50% Sasol社：50%
5. 事業内容 アクリル酸及びアクリル酸エステルの製造
6. 設備能力 アクリル酸：年産8万トン、アクリル酸ブチル：年産8万トン、
アクリル酸エチル：年産3.5万トン、精製アクリル酸：年産1万トン
7. 立地 Sasol社Sasolburg工場敷地内
8. 営業運転開始 2004年3月

以上